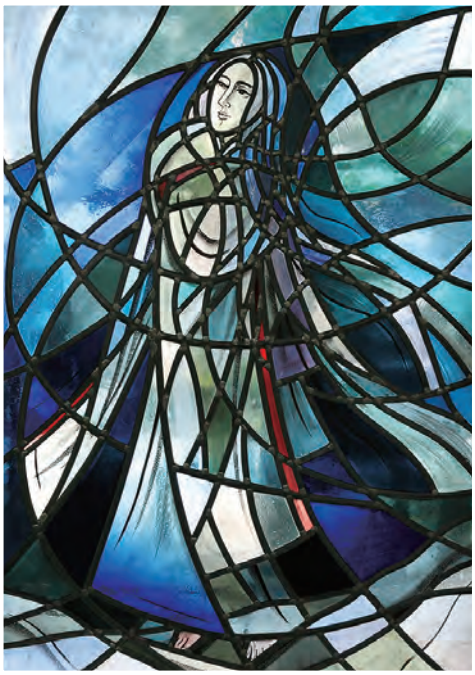
TANYO SHINYO KINKO

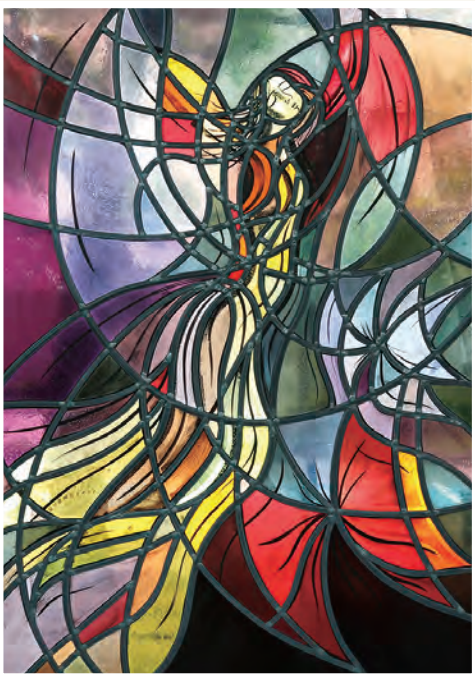
半期REPORT 2025（令和7年）9月期

地元のみなさまとともに・・・



『冬』（春を待つ）

『春』（芽生え）



『夏』（夏の夢）

『秋』（昇華）

《当金庫所蔵》
作品名：「四季」（ステインドグラス：本店玄関に設置）
作者名：立花　江津子　氏

“よろず相談所”
但陽信用金庫

よろず相談所《たんよう》は いつもお客様のそばに……

平素は、当金庫に対しまして何かとお心寄せを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、安心してお取引をいただくために、2025年9月期決算や経営内容の一端について「半期REPORT2025」としてまとめさせていただきました。

お目通しいただき、《たんよう》のより一層のご理解と引き続きのご支援、ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

但陽信用金庫と地域の絆

当金庫は、大正15年に但馬（朝来市生野町）にて創業。山陽地域にご縁を拡げ、昭和63年5月、東播磨の加古川市に本店を移転。南但馬を含めた兵庫県中南部を事業区域に、中小企業者や地域の住民による会員組織の金融機関として、相互扶助による「地域の発展」「豊かな暮らしの実現」を共通の理念としています。

地域のお客様からお預かりした大切な預金は、地域で資金を必要とされるお客様にご利用いただき、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として中小企業者や地域の住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融サービス機能の提供にとどまらず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標でもある「地方創生」への参画や文化・環境・福祉・教育・観光といった面も視野に、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

地域貢献・地域活性化支援に関する取組状況

■「NPO法人 但陽ボランティアセンター」への人員派遣など、継続して取り組んでいる活動

～ボランティアを始めて30年～

当金庫は、阪神淡路大震災以降、30年間、ボランティア活動を継続しています。2000年1月以後は、ボランティアを目的に設立した「NPO法人 但陽ボランティアセンター」に、金庫から毎日数名の職員を派遣して、車いすを利用されている方々へのリフト付福祉車両による「移送サービス」等の支援活動を続けています。

そのほか、

- 高齢者宅（約2,300軒）へのケア訪問
- 職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催、啓蒙活動への協力
- 「認知症バリアフリー宣言」を公表
- 食品ロス削減活動の一環として全店ロビーにて「フードドライブ」を実施（通年）
- 全店舗ATMコーナーへのAED配備と職員向け「普通救命講習」の継続開催
- 「こども110番の店」への登録
- 中古学生服リユース活動への協力
- 献血活動への協力、骨髄バンクドナー登録会への協力

などの活動を継続しています。

「認知症バリアフリー宣言」のロゴマーク

■地域における地方創生事業への参画

当金庫は、地域の活性化や雇用の創出に向け、各地域の地方創生事業へ積極的に参画しています。

・【加古川市】「ネーミングライツ」を活用した自治体への協力

加古川市は、スポーツ施設や文化施設、公園等に企業名や商品ブランド等を冠した愛称をつける「ネーミングライツパートナー」を募集しています。当金庫は【加古川市営駐車場】【加古川ウェルネスパーク】の2施設のパートナー企業に決まりました。

2025年4月1日より、両施設には"たんよう"を冠した「愛称」が付与され、当金庫が負担する命名権料が施設の維持管理やサービス向上に役立てられます。

【愛称】
・たんようカーパークつつじ

【愛称】
・たんようウェルネスパーク

・【姫路市】「道路照明灯サポーター制度」を活用した自治体への協力

姫路市は、2025年4月より、市道に設置された道路照明灯に対する関心と愛着を深め、道路照明の維持管理に寄与することを目的とする「道路照明灯サポーター制度」を導入しました。

対象となる道路照明灯は、JR姫路駅南の市道・駅南大路の街灯20基で、当金庫は、4基の街灯にサポーター企業として登録し、道路照明の維持管理に協力しています。

貸出金
3,804億円
代理貸付:85億円

中小企業の経営支援に関する取組み

生活設計支援に関する取組み

地域の活性化に関する取組み

地域のお客様会員の皆様
〈2025年9月末現在〉
顧客数：453,256 先
会員数：　32,971 先

但陽信用金庫
〈2025年9月末現在〉
常勤役職員数：635名
店　舗　数：34店舗
出　張　所：71出張所
(他金庫幹事3出張所含む)
自己資本比率：15.12%

出資金
10億66百万円

預金・積金
1兆116億円

中小企業の経営支援に関する取組状況

■お客様事業所の資金繰り支援

資源・仕入価格の変動や米国関税等により、直接的・間接的に影響を受けておられる事業者および個人のお客様への相談に対応しています。

また、お借り入れ方法の変更、特に長期の分割返済で借入すべき設備対応資金や長期運転資金と、短期借入で対応すべき経常運転資金を見直し、**長期借入・短期借入の組み換えを行うことで、資金繰りの改善を支援**させていただいています。

状況変化への対応や課題の解決についても、お客様と一緒に考え、取り組みます。

当金庫が解決できない問題については、外部専門家にお取次ぎいたします。何なりとお近くの店舗・担当者にご相談ください。

【相談窓口】：当金庫各店舗　または 本部フリーダイヤル：0120-200-707

■「知的資産経営」支援

「知的資産」とは、バランスシートに記載されている資産以外の、形や計数で表すことができない資産（経営理念・人材・技術力・組織力・ネットワークなど）を指しており、これらを自社の強みとして経営者と社員が共有し、経営資源として有効に活用することにより自社の価値向上に結び付けることを「知的資産経営」といいます。

当金庫は、2009年度から「知的資産経営」支援への取組みに努めています。

今年度は5月に「朝来」「加古川」会場で「知的資産経営支援セミナー」を、7～11月に「経営デザインシート作成セミナー」（ワークショップ4回コース）を開催。当金庫の支店長及び渉外担当者が参加事業所の伴走支援をしています。

また、「神崎」「姫路」会場においても、同様の取組みを8月から実施しています。

［経営デザインシート作成セミナー］

スマホで詳しく!　《たんよう》の「知的資産経営」支援について、詳細をスマホでご案内しています。→

■“希望の商い・ワクワク系”実践と伴走支援

［小阪裕司 氏］

当金庫は、オラクルひと・しくみ研究所の代表 小阪裕司氏の“商いの理論と実践手法”「ワクワク系マーケティング」のセミナーを開催しています。

全都道府県及び海外から千数百社が集い、取り組まれている「ワクワク系マーケティング実践会」においては、人の「感性」と「行動」を軸に「動機づけ」と「絆づくり」を二本柱とした商いの考え方と実践手法を、参加事業者自らの商いの場で実践・計測することで、「楽しく仕事ができるビジネスモデル」を築く取組みを行っています。

今年度も「ワクワク系」入門講演に続く実践講座（2025年6月～12月（4回コース））を対面にて開催、当金庫の渉外担当者が実践講座に同席するとともに、その後も参加事業者様を継続して訪問し伴走支援に努めさせていただいています。

■お取引先の補助金申請支援

2013年4月の取組開始から2025年9月末までに758件の申請を支援し、うち337件（補助金等合計額73億415万円）が採択されました。

補助金の種類	累計採択件数
ものづくり・商業・サービス補助金	189件
事業再構築補助金	122件
創業・事業承継関連補助金	18件
小規模事業者活性化補助金	4件
中堅・中小成長投資補助金	1件
その他補助金	3件
合　計	337件

（2025年9月末現在）

※各表・グラフの記載計数で「−」は、該当計数がないことを表示しています。
※各表・グラフの記載計数で「0」は、該当計数があるものの、単位未満であることを表示しています。
※各表・グラフの記載計数は、特段の記載のない限り、単位未満を切り捨てて表示しています。

預金・貸出金などの状況

■預金・積金残高の推移

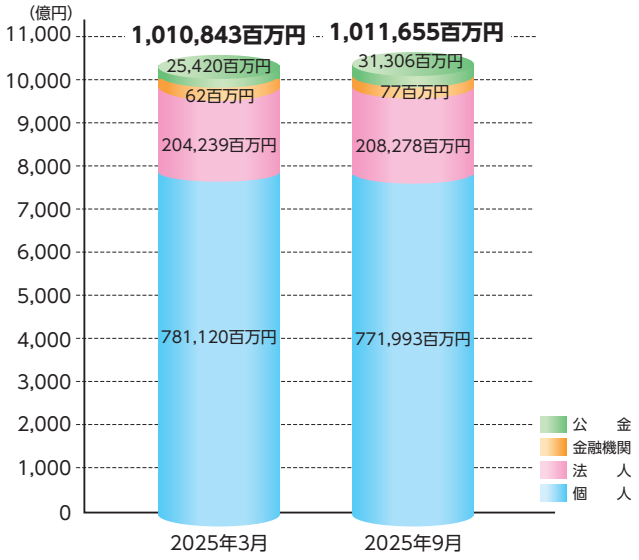
預金・積金残高は、エリア内世帯や事業所の取引先数の拡大とメイン化推進、具体的には決済性預金口座の獲得とその活性化に取り組んだ結果、残高は、個人預金がやや減少したものの、法人預金、公金預金が増加し、**1兆116億円**(期初比8億円、0.08%増)となりました。

■貸出金残高の推移

原材料・仕入価格の高騰や為替・トランプ関税の変動影響を受けておられる事業者、個人のお客様から、あらゆる相談をお受けする「よろず相談所」の取組みを優先しました。その結果、貸出金は**3,804億円**(期初比140億円、3.82%増)となりました。

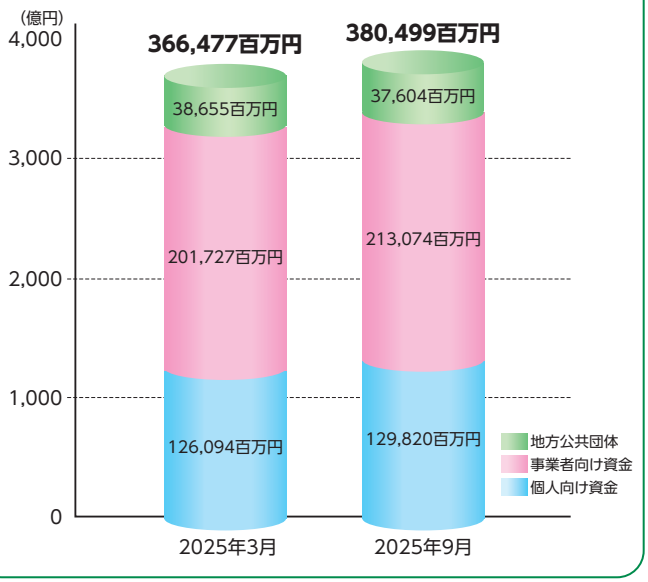
預金・積金残高(2025年9月)

1兆116億円



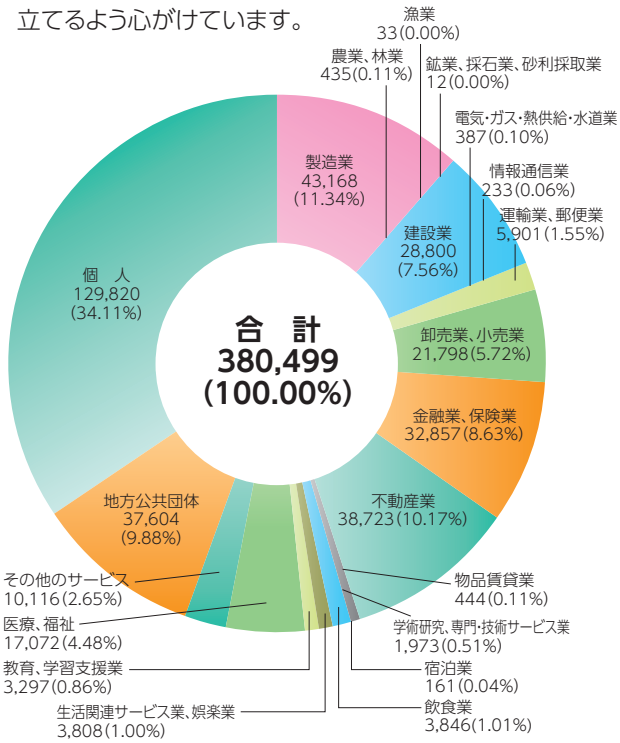
貸出金残高(2025年9月)

3,804億円



業種別貸出残高の内訳

特定業種に偏ることなく、地域の幅広い業種のお役に立てるよう心がけています。



(単位:百万円、%)

	2025年3月		2025年9月	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	40,241	10.98	**43,168**	**11.34**
農業、林業	390	0.10	**435**	**0.11**
漁業	33	0.00	**33**	**0.00**
鉱業、採石業、砂利採取業	12	0.00	**12**	**0.00**
建設業	28,727	7.83	**28,800**	**7.56**
電気・ガス・熱供給・水道業	498	0.13	**387**	**0.10**
情報通信業	214	0.05	**233**	**0.06**
運輸業、郵便業	6,100	1.66	**5,901**	**1.55**
卸売業、小売業	21,052	5.74	**21,798**	**5.72**
金融業、保険業	27,463	7.49	**32,857**	**8.63**
不動産業	36,944	10.08	**38,723**	**10.17**
物品賃貸業	430	0.11	**444**	**0.11**
学術研究、専門・技術サービス業	1,725	0.47	**1,973**	**0.51**
宿泊業	166	0.04	**161**	**0.04**
飲食業	3,778	1.03	**3,846**	**1.01**
生活関連サービス業、娯楽業	3,946	1.07	**3,808**	**1.00**
教育、学習支援業	3,331	0.90	**3,297**	**0.86**
医療、福祉	16,880	4.60	**17,072**	**4.48**
その他のサービス	9,789	2.67	**10,116**	**2.65**
小計	201,727	55.04	**213,074**	**55.99**
地方公共団体	38,655	10.54	**37,604**	**9.88**
個人	126,094	34.40	**129,820**	**34.11**
合計	366,477	100.00	**380,499**	**100.00**

有価証券運用の状況

有価証券運用残高は、**2,575億円**(期初比74億円、2.99%増)となり、預金・積金に対する有価証券の割合は、25.46%(期初比0.71ポイント)となりました。

有価証券運用については、安全第一を心掛ける一方で、リスク管理に留意しつつ一定の収益確保に取り組んでいます。

(単位:百万円、%)

	2025年3月		2025年9月	
	残高	構成比	残高	構成比
国債	77,431	30.96	**74,751**	**29.02**
地方債	32,380	12.94	**39,369**	**15.28**
社債	48,742	19.49	**51,551**	**20.01**
株式	6,148	2.45	**6,275**	**2.43**
証券投資信託	12,090	4.83	**11,281**	**4.38**
外国証券	72,871	29.13	**73,957**	**28.71**
その他の証券	421	0.16	**383**	**0.14**
合計	250,086	100.00	**257,570**	**100.00**

有価証券の時価情報

■売買目的有価証券について、該当する取引はありません。

■満期保有目的の債券

(単位:百万円)

		2025年3月			2025年9月		
		貸借対照表計上額(帳簿価格)	時価	差額	貸借対照表計上額(帳簿価格)	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	−	−	−	−	−	−
	地方債	2,220	2,230	9	**1,233**	**1,237**	**4**
	社債	1,122	1,132	9	**1,033**	**1,039**	**6**
	外国証券	1,414	1,455	41	**1,562**	**1,586**	**24**
	小計	4,757	4,818	61	**3,828**	**3,863**	**35**
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	−	−	−	−	−	−
	地方債	18,415	17,614	△801	**26,974**	**25,788**	**△1,185**
	社債	493	462	△30	**563**	**529**	**△33**
	外国証券	1,178	1,108	△69	**1,027**	**947**	**△80**
	小計	20,087	19,185	△901	**28,566**	**27,266**	**△1,299**
合計		24,844	24,003	△840	**32,395**	**31,130**	**△1,264**

(注)1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

■その他有価証券

(単位:百万円)

		2025年3月			2025年9月		
		貸借対照表計上額(時価)	取得原価	差額	貸借対照表計上額(時価)	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	3,287	2,538	748	**4,564**	**3,533**	**1,030**
	債券	21,767	21,496	270	**12,211**	**12,038**	**172**
	国債	13,977	13,862	115	**6,564**	**6,532**	**32**
	地方債	2,071	2,056	15	**1,612**	**1,603**	**9**
	社債	5,717	5,578	139	**4,033**	**3,902**	**130**
	外国証券	4,072	3,919	153	**16,169**	**15,817**	**351**
	その他	2,251	2,089	161	**3,688**	**3,277**	**410**
	小計	31,378	30,044	1,334	**36,633**	**34,668**	**1,965**
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	2,764	3,157	△393	**1,613**	**1,807**	**△193**
	債券	114,535	134,122	△19,587	**123,657**	**145,494**	**△21,837**
	国債	63,453	79,241	△15,787	**68,186**	**85,835**	**△17,649**
	地方債	9,673	11,173	△1,500	**9,549**	**11,210**	**△1,661**
	社債	41,409	43,707	△2,298	**45,921**	**48,448**	**△2,527**
	外国証券	66,205	71,425	△5,219	**55,196**	**59,222**	**△4,025**
	その他	10,343	11,640	△1,296	**8,040**	**8,686**	**△646**
	小計	193,848	220,345	△26,496	**188,507**	**215,210**	**△26,703**
合計		225,227	250,390	△25,162	**225,141**	**249,879**	**△24,737**

(注)1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、投資信託及び買入金銭債権等です。
3.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

損益の状況

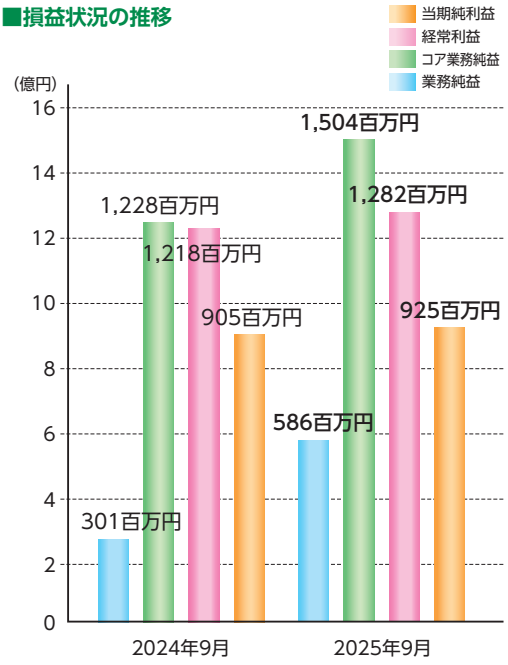
日銀の金融政策正常化に伴う金利上昇や「物価と賃金の好循環」の進展により、安定的な景気回復が期待される中、貸出金の順調な増加と短期プライムレートの引上げ効果により、貸出金利息収入が増加するとともに、市場金利上昇による利回り改善により、有価証券利息配当金収入・預け金利息収入が増加しました。

この結果、業務純益は586百万円(前年同月比285百万円、94.89%増)、経常利益は1,282百万円(同63百万円、5.24%増)、当期純利益は925百万円(同19百万円、2.19%増)となり、本業の取組みを示すコア業務純益も1,504百万円(同276百万円、22.47%増)と昨年実績を上回りました。

(単位:百万円)

	2024年9月	2025年9月	増減
業務純益	301	**586**	285
実質業務純益	301	**595**	294
コア業務純益	1,228	**1,504**	276
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	1,194	**1,504**	310
経常利益	1,218	**1,282**	63
当期純利益	905	**925**	19

■損益状況の推移



自己資本の充実の状況

■自己資本比率(単体)

貸出金や余資運用に係るリスクアセットと自己資本の増加率が同水準であったため、2025年9月期の自己資本比率は、2025年3月期と同水準の15.12%(期初比±0ポイント)となりました。依然として国内基準4%・国際基準8%を上回る水準を維持し、経営の健全性・安全性を十分に保っています。

引き続き、適切なリスク管理の下、「よろず相談所の実践」による地域の皆様との対話に取り組み、お客様へのご融資と適切な資金運用を通じ、健全性の確保と収益性の向上に努めてまいります。

【当金庫の2025年9月期の自己資本比率(単体)】

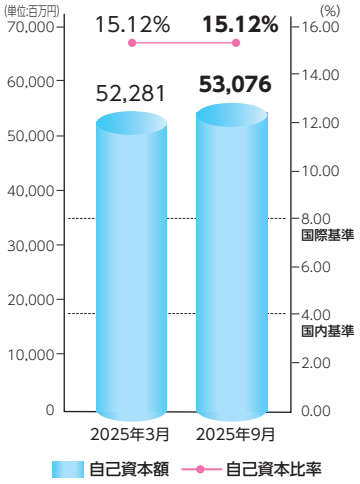
$$\text{単体自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(コア資本に係る基礎項目の額53,970百万円−コア資本に係る調整項目の額894百万円)}}{\text{信用リスク・アセットの額の合計額334,683百万円+オペレーショナル・リスク相当額の合計額÷8% 16,222百万円}} \times 100 = 15.12\%$$

■自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項　　目	2025年3月	2025年9月
コア資本に係る基礎項目(1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	52,955	**53,878**
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,068	**1,066**
うち、利益剰余金の額	51,950	**52,811**
うち、外部流出予定額(△)	64	**−**
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	83	**92**
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	83	**92**
コア資本に係る基礎項目の額…(イ)	53,039	**53,970**
コア資本に係る調整項目(2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	148	**125**
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	148	**125**
前払年金費用の額	609	**768**
コア資本に係る調整項目の額…(ロ)	757	**894**
自己資本		
自己資本の額((イ)−(ロ))…(ハ)	52,281	**53,076**
リスク・アセット等(3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	329,423	**334,683**
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	16,222	**16,222**
リスク・アセット等の額の合計額… (ニ)	345,645	**350,906**
自己資本比率		
自己資本比率((ハ)／(ニ))	15.12%	**15.12%**

■自己資本比率と自己資本額の推移



(注)

自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。

信用金庫法及び金融再生法に基づく債権の状況

■信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円、%)

区　分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)／(a)	引当率 (d)／(a−c)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2025年3月	1,341	1,341	718	622	100.00	100.00
	2025年9月	**1,493**	**1,493**	**844**	**648**	**100.00**	**100.00**
危険債権	2025年3月	4,353	4,071	2,931	1,139	93.52	80.17
	2025年9月	**4,239**	**3,980**	**2,850**	**1,130**	**93.90**	**81.38**
要管理債権	2025年3月	703	342	333	9	48.69	2.49
	2025年9月	**677**	**320**	**313**	**7**	**47.33**	**2.08**
三月以上延滞債権	2025年3月	−	−	−	−	−	−
	2025年9月	**1**	**0**	**−**	**0**	**1.12**	**1.12**
貸出条件緩和債権	2025年3月	703	342	333	9	48.69	2.49
	2025年9月	**675**	**320**	**313**	**7**	**47.44**	**2.09**
小計(A)	2025年3月	6,397	5,755	3,983	1,771	89.95	73.37
	2025年9月	**6,410**	**5,794**	**4,008**	**1,786**	**90.40**	**74.37**
正常債権(B)	2025年3月	360,948					
	2025年9月	**374,869**					
総与信残高 (A)+(B)	2025年3月	367,346					
	2025年9月	**381,279**					

・上記開示債権について、担保・保証等による回収見込額には、決済確実な割引手形等を含めています。

・金融再生法上の不良債権比率= 金融再生法上の不良債権　6,410百万円 / 合計(総与信)381,279百万円 ×100=1.68%

※不良債権比率は単位未満を四捨五入して表示しています。

(注)

1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「正常債権」(B)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
7. 「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8. 「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)です。

■自己資本の充実度に関する事項(単体)

(単位:百万円)

	2025年3月		2025年9月	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	329,423	13,176	**334,683**	**13,387**
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	300,205	12,008	**305,277**	**12,211**
外国の中央政府以外の公共部門向け	53	2	**52**	**2**
地方公共団体金融機構向け	270	10	**220**	**8**
我が国の政府関係機関向け	313	12	**311**	**12**
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	80,578	3,223	**79,575**	**3,183**
第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	2,487	99	**3,291**	**131**
法人等向け	73,770	2,950	**78,945**	**3,157**
中堅中小企業等向け及び個人向け	37,466	1,498	**38,343**	**1,533**
トランザクター向け	618	24	**598**	**23**
不動産関連向け	42,886	1,715	**43,981**	**1,759**
劣後債権及びその他資本性証券等	7,636	305	**7,636**	**305**
延滞等向け	2,925	117	**2,811**	**112**
自己居住用不動産向けエクスポージャーに係る延滞	157	6	**154**	**6**
取立未済手形	80	3	**81**	**3**
信用保証協会等による保証付	1,975	79	**2,071**	**82**
株式等	10,650	426	**9,750**	**390**
上記以外	41,440	1,657	**41,341**	**1,653**
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	4,765	190	**4,765**	**190**
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	4,768	190	**4,768**	**190**
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	20,884	835	**20,597**	**823**
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有していない他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段に係るエクスポージャー	530	21	**530**	**21**
②証券化エクスポージャー	−	−	**−**	**−**
③リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	29,217	1,168	**29,405**	**1,176**
ルック・スルー方式	29,217	1,168	**29,405**	**1,176**
④未決済取引	−	−	**−**	**−**
⑤他の金融機関等の対象資本等調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	−	−	**−**	**−**
⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額	−	−	**−**	**−**
⑦中央清算機関関連エクスポージャー	0	0	**0**	**0**
ロ. オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	16,222	648	**16,222**	**648**
BI	10,815		**10,815**	
BIC	1,297		**1,297**	
ハ. 単体リスク・アセットの合計額及び単体総所要自己資本額(イ+ロ)	345,645	13,825	**350,906**	**14,036**

(注)1. 所要自己資本の額=リスク・アセット等×4%(自己資本比率規制における国内基準)

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。

3. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関及び第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」(「国際決済銀行等向け」を除く)においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

4. 「延滞等」とは、次の事由が生じたエクスポージャーのことです。
①金融再生法施行規則上の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」に該当すること
②重大な経済的損失を伴う売却を行うこと
③3か月以上限度額を超過した当座貸越であること

5. 当金庫では、マーケット・リスクに関する事項は該当ありません。

6. 当金庫は、標準的計測手法かつILMを「1」によりオペレーショナル・リスク相当額を算定しております。

7. 単体総所要自己資本額=単体リスク・アセットの合計額(単体自己資本比率の分母の額)×4%

充実の店舗網（事務所の名称及び所在地）

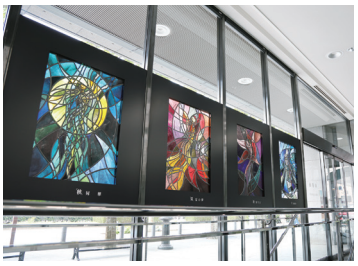
あなたの街にあなたの《たんよう》

■本店にステインドグラスを設置しました。

本店の正面玄関に、ステインドグラス作家 立花 江津子 氏 作の四季「冬・春・夏・秋」をそれぞれテーマにしたステインドグラスを設置しました。

日中は店内より太陽の光に照らされた鮮やかな輝きを、夜間にはライトに映し出される幻想的な輝きをご覧いただくことができます。

本店前を通られる皆様のお気持ちの安らぐ場にしていただければ幸いです。ベンチも設置していますので、是非ご鑑賞ください。



【店内より】

【屋外より】

店舗のご案内 （2025年11月末現在　34店舗）

●本　　店	加古川市加古川町溝之口772	☎(079)422-7721
●本店別館	加古川市加古川町平野367	☎(079)423-2300
●生野本部	朝来市生野町口銀谷511	☎(079)679-2253

東播磨・加西地区 （15店舗）

●本店営業部	加古川市加古川町溝之口772	☎(079)422-7711
●平野支店	加古川市加古川町平野367	☎(079)421-2721
●加古川東支店	加古川市平岡町新在家716-13	☎(079)425-4151
●土山支店	加古川市平岡町土山1203-1	☎(078)942-5851
●北野支店	加古川市野口町北野1139-3	☎(079)425-0373
●別府支店	加古川市別府町別府618-2	☎(079)437-3201
●神野支店	加古川市神野町西条416-1	☎(079)438-1003
●尾上支店	加古川市尾上町旭1-45-2	☎(079)422-5551
●高砂支店	高砂市米田町米田971-1	☎(079)431-6833
●高砂中央支店	高砂市高砂町栄町373-1	☎(079)443-3122
●高砂西支店	高砂市曽根町801-5	☎(079)447-1203
●大塩支店	高砂市北浜町西浜1208-50	☎(079)254-3432
●本荘支店	加古郡播磨町北本荘1-10-15	☎(079)435-2055
●稲美支店	加古郡稲美町国岡2-10-6	☎(079)492-3222
●加西支店	加西市北条町横尾381-7	☎(0790)43-1231

姫路地区 （12店舗）

●姫路支店	姫路市二階町111	☎(079)224-2171
●姫路南支店	姫路市東延末3-6	☎(079)285-3711
●姫路東支店	姫路市花田町加納原田917-1	☎(079)253-9210
●姫路北支店	姫路市御立西6-1-39	☎(079)293-2011
●姫路西支店	姫路市飾西640	☎(079)266-9231
●姫路灘支店	姫路市白浜町宇佐崎中1-37-3	☎(079)245-1011
●城西支店	姫路市土山3-7-30	☎(079)298-2201
●城北支店	姫路市増位本町1-1-9	☎(079)281-5421
●飾磨支店	姫路市飾磨区構2-19	☎(079)235-2300
●勝原支店	姫路市勝原区熊見77-3	☎(079)230-3111
●香呂支店	姫路市香寺町香呂3	☎(079)232-1011
●溝口支店	姫路市香寺町溝口555-4	☎(079)232-7715

朝来・神崎地区 （7店舗）

●生野支店	朝来市生野町口銀谷511	☎(079)679-2251
●和田山支店	朝来市和田山町枚田790	☎(079)672-5500
●朝来支店	朝来市新井128-1	☎(079)677-1121
●粟賀支店	神崎郡神河町粟賀町366	☎(0790)32-1121
●寺前支店	神崎郡神河町寺前219-3	☎(0790)34-1710
●甘地支店	神崎郡市川町甘地834-1	☎(0790)26-1121
●福崎支店	神崎郡福崎町西田原1403-1	☎(0790)22-1221

AED ※全店舗のATMコーナーにAEDを備え付けています。
※全店舗のATMコーナーは365日稼働。

子会社のご案内 （2025年11月末現在）

●但陽ビジネスサービス株式会社	加古川市加古川町平野367	☎(079)423-0231

出張所（店外ATM）のご案内 （2025年11月末現在　71出張所）

東播磨・加西地区 （36出張所）

○●加古川市役所出張所
●ヤマトヤシキ加古川店出張所
●ニッケパークタウン出張所
●加古川中央市民病院出張所
●マルアイ中津出張所
●マルアイ木村出張所
●マックスバリュ友沢出張所
●マックスバリュ今福出張所
●マルアイ今福出張所
★●マックスバリュ安田出張所
●イオンタウン野口出張所
●マルアイ野口出張所
●東加古川駅前出張所
●マルアイ東加古川出張所
●イオンタウン東加古川出張所
●マルアイ城の宮出張所
●BiVi土山出張所
●マックスバリュ水足出張所
●加古川石守ショッピングタウン出張所
○●県立加古川医療センター出張所
●マルアイ本社・神野店出張所
●マルアイ八幡出張所
●アリオ加古川出張所
●マルアイ一色出張所
●マルアイ浜の宮出張所
●イオンタウン加古川西出張所
●コープ神吉出張所
●マックスバリュ宝殿出張所
●アスパ高砂出張所
○●高砂市役所出張所
●マルアイ曽根出張所
●マルアイ伊保出張所
●コープ播磨出張所
●マルアイ六分一出張所
●マックスバリュ稲美出張所
●イオンモール加西北条出張所

姫路地区 （27出張所）

●マックスバリュ溝口出張所
●マックスバリュ豊富出張所
●姫路聖マリア病院出張所
★●コープ砥堀出張所
●イオン姫路出張所
●マルアイ広峰出張所
●マルアイ アンビック出張所
●マックスバリュ宮西出張所
●山陽姫路駅出張所
★●コープ田寺出張所
●マックスバリュ安室出張所
●マックスバリュ書写出張所
●マックスバリュ町田出張所
●マックスバリュ青山出張所
●ヤマダストアー新青山出張所
★●姫路赤十字病院出張所
●マックスバリュ西今宿出張所
●マックスバリュ岡田出張所
●姫路亀山出張所
●マックスバリュ英賀保出張所
★●イオンモール姫路大津出張所
●マルアイ広畑出張所
●マルナカ広畑出張所
●ヤマダストアー花田出張所
●イオンタウン姫路別所出張所
●マックスバリュ東山出張所
●的形出張所

朝来・神崎地区 （8出張所）

●朝来市役所出張所
●イオン和田山店出張所
●フレッシュバザール和田山玉置出張所
●山東出張所
○●公立神崎総合病院出張所
●マックスバリュ市川出張所
●ライフ福崎出張所
●JR福崎駅出張所

※1.○は平日のみの稼働。その他の出張所は原則、365日稼働しますが、設置施設の休業日等には稼働しない場合もあります。
※2.★は他金庫との共同設置出張所のため、通帳での取引ができない出張所で、ご利用日・時間帯によっては、手数料が必要になる場合があります。

“よろず相談所”
但陽信用金庫
〒675-0064 加古川市加古川町溝之口772
電話（079）422-7721（代）
https://www.tanyo-shinkin.co.jp
0120（200）707

PRINTED WITH SOY INK　UD FONT　FSC www.fsc.org ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C005524